

宮古城辺保良方言の音韻について

島尻 澤一 (宮古島市史編さん委員)

はじめに

市町村合併以前、旧城辺町は、町史編纂事業を精力的に進めていた自治体である。その事業の中でも、特に昔から町内に語り伝えられている歌謡や民話については、後世に伝えていくこと、地域の子供たちの文化継承や学習につながることの重要性を委員全体で確認し編集にあたった。従って、資料収集にあたっては、町全体をモータリして全域の歌謡や民話について各集落ごとにインフォーマント(話者)選定して時間をかけて徹底的に調査収集をした。そして、その集大成として発刊したのが第6巻の民話編、第5巻の歌謡編である。そこで特筆すべきはその編集方針である。これまでの自治体が発刊した歌謡や民話に関する史誌は、ほとんどが地域の方言で話され採集された方言資料を漢字仮名交じりの方言表記に編集し発刊した物となっている。それを城辺町は、ほとんどの自治体がこれまでやってきた編集方針を附して画期的編集方法で編纂事業を進めたのである。まず、インフォーマント(言語資料提供者)が話した言葉を、感動詞や感嘆詞、間投詞、話者の独り言、すべて忠実に表記することによって話者の声なき思いも含めて昔話資料としても豊かな語りとして取り上げることにした。そして、国際的な言語資料としての価値を維持する重要な資料として後世まで残し外国の研究者が利用できる町史とする。此の確認の元に出されたのが、資料表記方針は言語学研究において最も基本的な国際音声記号で表記し発刊するということであった。歌謡についても、国際音声記号で表記するのはもちろん、歌謡資料全てに音楽が再現できるた

めの音楽の採譜を付ける編集方針を採用することとした。そのような経過で5巻の歌謡編と6巻の民話編は発刊された。後に城辺町方式として評価されたが、言語学の専門性を必要とする人材が少ないこともあって、その後他の市町村での編集に於いて国際音声記号を用いた民話や歌謡の方言資料発刊は確認されていない。その後も城辺町は次の編集に城辺町の古い集落の方言を収集して言語編を発刊する企画を進めていた。事業方針は、9集落を指定して各集落の話者を選定しながら資料収集を進めていたが、いろいろな事情で発刊するには至らなかった。私は方言学を専門とする立場から、幸いにもその事業に深く関わり、調査、資料収集に当たった。その成果は、調査した資料の一部が「ぐすくべの方言語彙(上)(下)」(城辺町教育委員会)として発刊されている。残念なことに、その時に調査した多くの資料は、日の目を見ることなく、私の手元にまだ残されている。この論文は、残された資料を少しでも調査に協力していただいた旧城辺町の人々に還元したいと思ってまとめたものである。あらためて協力した関係者の方々に感謝したい。ここでまとめるにあたっては、一般の人にも方言学を身近に感じてもらうために今度4月に「しまくとうば検討委員会」から出された宮古語仮名表記表を用いて方言の仮名表記をした。

沖縄県共通宮古語仮名表記表 保良方言音声表記仮名対応表

イ	イ°	ア	ウ	ヤ	ユ	ワ
[ʼi]	[ʼi°]	[ʼa]	[ʼu]	[ʼja]	[ʼju]	[wa]
[i]	[i°]	[a]	[u]	[ja]	[ju]	[wa]

キ	クス	カ	ク	キヤ	キユ	ヴィ	ヴァ	ヴィ	ヴァ	ヴユ	
[ki]	[kɪ]	[ka]	[ku]	[kja]	[kju]	[vi]	[va]	[vu]	[vja]	[vju]	
ギ	グス	ガ	グ	ギヤ	ギユ	ピ	プス	パ	プ	ピヤ	ピユ
[gi]	[gɪ]	[ga]	[gu]	[gja]	[gju]	[pi]	[pɪ]	[pa]	[pu]	[pja]	[pju]
チ		ツア	トゥ	テヤ	テユ	ビ	ブス	バ	ブ	ビヤ	ビユ
[tʃi]		[tʃa]	[tu]	[tja]	[tju]	[bi]	[bɪ]	[ba]	[bu]	[bja]	[bju]
ジャ		ダ	ドゥ	デヤ	デユ	ミ	マ	ム	ミヤ	ミュ	
[dʒi]		[da]	[du]	[dʒa]	[dju]	[mi]	[ma]	[mu]	[mja]	[mju]	
ツイ	ツ	ツア	ツウ	チャ	チュ	Q[p f v s ʃ ʒ z t k] 〈ッ〉					
[tʃi]	[tʃɪ]	[tʃa]	[tʃu]	[tʃja]	[tʃju]	R[:] 〈ー〉					
						N[n ŋ] 〈ン〉					
						M[m] 〈ム°〉					
シ	ス	サ	スウ	シヤ	シユ	V[v] 〈ヴ〉					
[si]	[sɪ]	[sa]	[su]	[ʃa]	[ʃu]	F[f] 〈フ〉					
ジ	ズ	ダ	ドゥ	ジャ	ジュ	1. 保良集落の概要					
[dʒi]	[dʒɪ]	[da]	[du]	[dʒa]	[dʒju]	城辺町の南東部に位置し、北・東・南の3方は海に面している。そして、東南には東平安名崎が細長く海に突きだしている。保良、吉野、七又の3行政区に分かれる。保良集落は密集した塊村で、道路割りは整然としている。交通は平良市のバス路線が整備されて利便性が高い。主に農業でサトウキビやたばこを栽培している。また、東平安名崎近くに漁港があり、漁業も行われている。特に、アオムロ漁が盛んである。域内には、保良元島遺跡、平安名村跡、崎山村跡、保良前方原遺跡が確認されている。拝所に、ムトゥ御嶽、池間御嶽、ナイカニ御嶽、ウタチャー御嶽、タキナカ御嶽、カンカムツ御嶽、ムトゥズマ御嶽、バカボウ御嶽、ウブドゥヌ御嶽、マダマ御嶽、カネアズ御嶽、ナイカニムトゥ、ミヤードゥムトゥなどがあり、プーズ、シナフカなどの諸祈願が行われている。参考文献・「角川書店 昭和61年 角川日本地名大辞典」					
サ°	ス°	サ°	ス°ゥ								
[zi]	[zɪ]	[za]	[zu]								
ジ°				ジ°ヤ	ジ°ユ						
[ʒi]				[ʒa]	[ʒu]						
リ		ラ	ル	リヤ	リュ						
[ri]		[ra]	[ru]	[rja]	[rju]						
ニ		ナ	ヌ	ニヤ	ニユ						
[ni]		[na]	[nu]	[nja]	[nju]						
フィ		ファ	フウ	フヤ	フユ						
[fi]		[fa]	[fu]	[fja]	[fju]						

2. 音韻体系

2-1. 音素

保良方言には次のような音素が認められる。

子音音素 / ' , k , g , p , b , m , n , t , d , r , f , c , z , s , v / (15個)

半母音音素 / j , w / (2個)

母音音素 / i , ī , a , u / (4個)

拍音素 / M , N , V , F , Q , R / (6個)

次にそれぞれの音素について記述する。// は音韻記号、[] は音声記号を表す。

2-2. 拍構造

保良方言のモーラ構造は次の6つである。

- (1) /CV/ (2) /CSV/ (3) /Q/
(4) /N/ (5) /M/ (6) /V/

◎ (1) の /C/ には全ての子音が立つ。/V/ にも /e/ をのぞいてすべての母音が立つ。しかし、保良方言では母音 /o/ は、存在しない。

◎ (2) の /S/ には、/j, w/ が立つ。しかし、w の拍は極めて少なく /'wa:/ のみである。/'waRbi/ [wa:bi] 〈ワービ〉《上方》、/'waR/ [wa:] 〈ワー〉《輪》、/'watfiku/ [watfaku] 〈ワチャク〉《邪魔する》、/'waRra/ [wa:ra] 〈ワーラ〉《風上》

◎ (3) /Q/ は、語頭と語中に立つことが出来る。/Qsam/ [ssam] 〈ツサム〉《虱》、/fuQgi/ [fuzgi] 〈フウジ〉《縛れ》、/aQp i/ [appi] 〈アップス〉《遊ぶ》

◎ (4) ~ (6) の /M, V, F, N/ はいずれもどの位置にも立ち得る。/kaN/ [kan] 〈カン〉《蟹》、/kaM/ [kam] 〈カム〉《神》、/niV/ [niv] 〈ニヴ〉《眠る》、/MR/ [m:] 〈ムー〉

《芋》、/MRgi/ [m:gi] 〈ムーギ〉《芋蔓》、/Ffa/ [ffa] 〈フファ〉《子ども》、/kaftsī/ [kaftsī] 〈カフツ〉《屋敷内菜園》、/gaF/ [gaf] 〈ガフ〉《ぴたっ》、/VR/ [v:] 〈ヴー〉《売る》、/Vva/ [vva] 〈ヴヴァ〉《君》、/'aVva/ [avva] 〈アヴヴァ〉《油、脂》、NRdakari/ [n:dakari] 〈ンダカリ〉《似ている》、/NRku/ [n:ku] 〈ンーク〉《膿》

2-3. 拍表

保良方言の拍とそれに該当する音声を表で提示する。

/'i/	/'ī/	/'a/	/'u/	/'ja/	/'ju/
[i]	[ī]	[a]	[u]	[ja]	[ju]
/'wa/					
[wa]					

/ki/	/kī/	/ka/	/ku/	/kja/	/kju/
[ki]	[kī]	[ka]	[ku]	[kja]	[kju]

/gi/	/gī/	/ga/	/gu/	/gja/	/gju/
[gi]	[gī]	[ga]	[gu]	[gja]	[gju]

/ti/		/ta/	/tu/	/tja/	/tju/
[tʃi]		[tsa]	[tu]	[tja]	[tju]

/di/		/da/	/du/	/dja/	/dju/
[dʒi]		[da]	[du]	[dʒa]	[dju]

/zi/	/zī/	/za/	/zu/
[zi]	[zī]	[za]	[zu]

/ʒi/		/ʒa/	/ʒu/
[ʒi]		[ʒa]	[ʒu]

/ci/	/cī/	/ca/	/cu/	/cja/	/cju/
[tsi]	[tsī]	[tsa]	[tsu]	[tʃu]	[tʃju]

/si/ /sĩ/ /sa/ /su/ /sja/ /sju/
[si] [sĩ] [sa] [su] [ʃa] [ʃu]

/zi/ /zĩ/ /za/ /zu/ /zja/ /zju/
[dʒi] [dzĩ] [da] [du] [dʒa] [dʒu]

/ri/ /ra/ /ru/ /rja/ /rju/
[ri] [ra] [ru] [rja] [rju]

/ni/ /na/ /nu/ /nja/ /nju/
[ni] [na] [nu] [nja] [nju]

/fi/ /fa/ /fu/ /fja/ /fju/
[fi] [fa] [fu] [fja] [fju]

/vi/ /va/ /vu/ /vja/ /vju/
[vi] [va] [vu] [vja] [vju]

/pi/ /pĩ/ /pa/ /pu/ /pja/ /pju/
[pi] [pĩ] [pa] [pu] [pja] [pju]

/bi/ /bĩ/ /ba/ /bu/ /bja/ /bju/
[bi] [bĩ] [ba] [bu] [bjo] [bju]

/mi/ /ma/ /mu/ /mja/ /mju/
[mi] [ma] [mu] [mja] [mju]

Q [p f v s ʃ ʒ z t k]

R [:]

N [n ŋ]

M [m]

V [v]

F [f]

3. 母音音素

保良方言の母音音素は、前舌狭母音 / i /、
中舌狭母音 / i̥ /、中舌広母音 / a /、奥舌狭母

音 / u /、奥舌広母音 / o / の5個がある。前
舌広母音 / e / は、確認することができなかつ
た。

3-1. 前舌狭母音 / i /

/ iR / [i :] 〈イー〉 《柄》

/ kui / [kui] 〈クイ〉 《声》

/ kagimunu / [kagimunu] 〈カギムヌ〉 《きれい》

/ iN / [iŋ] 〈イン〉 《犬》

/ cibirum / [tʃibirum] 〈チビルム〉 《肛門》

/ i̥ / [i̥] 〈イイ°〉 《西》

/ kiR / [ki :] 〈キー〉 《木》

/ piR / [pi :] 〈ピー〉 《おなら》

3-2. 中舌狭母音 / i̥ /

/ i̥zzu / [i̥zzu] 〈イ°ッス°ウ〉 《魚》

/ i̥R / [i̥ :] 〈イ°ー〉 《叱る》

/ ju' i̥ / [ju' i̥] 〈ユイ°〉 《夕食》

/ kanama' i̥ / [kanama' i̥] 〈カナマイ°〉 《頭》

/ fu' i̥ / [fu' i̥] 〈フウイ°〉 《便所》

/ pa' i̥di / [pa' i̥di] 〈パイ°ディ〉 《出かける》

/ i̥zzara / [i̥zzara] 〈イ°ッサラ〉 《鎌》

3-3. 前舌狭母音 / e /

保良方言では、共通語の / e / が / i / に変
化するので / e / 母音は確認できなかった。首
里方言などでは、連母音 [ai] が [e :] というよう
に融合し [e] の長母音が出されるが、保良方言
では融合せずにそのまま [ai] となるため [e] の
母音音素が存在しない。

首里方言 保良方言

《南》 [hae] [he :] 〈へー〉、[pai] 〈パイ〉

《地震》 [nai] [ne :] 〈ネー〉、[nai] 〈ナイ〉

3-4. 中舌広母音 / a /

/ ami / [ami] 〈アミ〉 《雨》

/ aR / [a :] 〈アー〉 《粟》

／' akaR' aka／[aka:aka] 〈アカーアカ〉《赤い》
 ／' akaR' i／[aka:i] 〈アカーイ°〉《蟻》
 ／' asamunu／[asamunu] 〈アサムヌ〉《朝食》
 ／' akaR' i／[aka:i] 〈アカーイ°〉《蟻》
 ／' aMdira／[amdira] 〈アム°ディラ〉《アダン
 で作った農具の名称(かご)》

3-5. 奥舌狭母音／u／

／' u' jakijaR／[ujakija:] 〈ウヤキヤー〉《金
 持ち、裕福な者》
 ／' u' ibi／[uibi] 〈ウイビ〉《指》
 ／' usi／[usi] 〈ウス〉《牛》
 ／' usa' i／[usai] 〈ウサイ〉《酒のつまみ》
 ／' uR／[u:] 〈ウー〉《追う》
 ／' uRgi／[u:gi] 〈ウーグス〉《泳ぐ》

3-6. 奥舌広母音／o／

宮古の他の方言では、共通語の／o／が／u
 ／に変化し、短母音の／o／が存在しないが、
 連母音／a u／が融合して／oR／になり長母
 音の／O／が表出する。しかし、保良方言では
 連母音の／a u／は融合しないので／o／母音
 が確認できたのは／coRcoR／[tʃo:tʃo:] 〈チ
 ョウーチョウー〉《蝶》、／koRmori／[ko:mori]
 〈コウモリ〉、／koRri／[ko:ri] 《氷》、／
 piNtoR／[pinto:] 《返答》だけであった。しか
 し同じ方言圏である友利方言では／piNtau／
 [pintau] 《返答》になって連母音がそのまま残
 っている。保良方言が／piNtoR／[pinto:] 《返
 答》になっている原因としては、宮古では[au]
 の連母音が融合して[o:]なる傾向が強い影響を
 受けて若い人たちの言語意識が変化して言語変
 化が起こっていることが考えられる。

4. 半母音音素

保良方言の半母音音素は／j／と／w／であ
 る。／j／は／w／より盛んに用いられる。／

j／は前口蓋音で／w／は両唇音である。

4-1. 半母音音素／j／

保良方言では／j／は盛んに用いられ、ほと
 んどの子音につづく。／j／につづく母音は／
 a／、／u／の2母音だけである。

／' jaR／[ja:] 〈ヤー〉《家》
 ／' jaM／[jam] 〈ヤム°〉《病気》
 ／' jumi／[jumi] 〈ユミ〉《嫁》
 ／' kjaRsī／[kjaRsī] 〈キヤース〉《消す》
 ／' kjuR／[kju:] 〈キュー〉《きょう》
 ／' joR' i／[jo:i] 〈ヨーイ°〉《祝い事》

4-2. 半母音音素／w／

保良方言では、ワ行の／w／音素が／b／音
 素に変化する。そのため／w／音素が、／j／
 音素に比べて表出のが少ないと思われる。

／' waRbu／[wa:bu] 〈ワーブ〉《上》
 ／' waRgani／[wa:gani] 〈ワーガニ〉《輪ガニ》
 ／' kazi' waRra／[kadziwa:ra] 〈カジワラ〉《風
 上》、／' sju' wamunu／[ʃuwamunu] 〈シュワムヌ〉
 《心配事》

5. 子音音素

宮古方言全体にも言えることであるが保良方
 言における子音音素の特徴は、現代国語の／h
 ／音素が古い形の／p／音素で残っているこ
 と、摩擦音音素の／f, v／があることなどで
 ある。

5-1. 咽頭音素／'／

保良方言では咽頭音素は／'／だけである。

／'／のモーラ体型は次の通りである。

／' i / /' i / /' a / /' u / /' ja / /' ju /
 [i] [i] [a] [u] [ja] [ju]
 /' wa /
 [wa]

語例は次の通りである。

- /' i / : /ku' i / [kui] 〈クイ〉 《声》
 /' isaku / [isaku] 〈イサク〉 《咳》
 /' nubu' i / [nubui] 〈ヌブイ〉 《首》
 /' iR / [i :] 〈イー〉 《柄》
 /' i / : /' iR / [i :] 〈イ°ー〉 《叱る》
 /' iʒʒiru / [iʒʒiru] 〈イ°ッジ°ル〉 《入れろ》
 /' ki' i / [ki i] 〈キイ°〉 《蹴る》
 /' i' iR / [i i] 〈イイ°〉 《西》
 /' a / : /kanas iRkanas i / [kanas i : kanas i]
 〈カナスーカナス〉 《いとおいしい》
 /' anna / [anna] 〈アンナ〉 《母親》
 /' abu / [abu] アブ 《洞窟》
 /' u / : /' utu / [utu] 〈ウトウ〉 《音》
 /' u' ja / [uja] 〈ウヤ〉 《親》
 /' ukusi / [ukuʒi] 〈ウクシ〉 《起こ
 せ》、/' uri / [uri] 〈ウリ〉 《降り
 る》
 /' ja / : /' jaR / [ja :] 〈ヤー〉 《家》
 /' janpu / [janpu] 〈ヤンプ〉 《蛭》
 /' kaja / [kaja] 〈カヤ〉 《茅》
 /' jaM / [jam] 〈ヤム°〉 《病気》
 /' ju / : /' juR / [ju :] 〈ユー〉 《お湯》
 /' ma' ju / [maju] 〈マユ〉 《猫》
 /' jurugas i / [jurugas i] 〈ユルガス〉
 《動かす》、/' juk i / [juk i] 〈ユク
 ス〉 《斧》
 /' wa / : /' waRbu / [wa : bu] 〈ワーブ〉 《上》
 /' waRgani / [wa : gani] 〈ワーガニ〉
 《輪ガニ》、/' kazi' waRra [kadʒiwa :
 ra] 〈カジワーラ〉 《風上》、/' sjuwa
 /' [ʒuwa] 〈シュワ〉 《心配》、/' a' wati
 /' [awati] 〈アワティ〉 《あわてる》

5-2. 後口蓋音素

保良方言の後口蓋音素は /k/ と /g/ の2音素である。この2つは次のようなモーラ体型

を示す。

- /ki/ /k i/ /ka/ /ku/ /kja/ /kju/
 [ki] [k i] [ka] [ku] [kja] [kju]
 語例は次の通りである。
 /ki/ : /kiR / [ki :] 〈キー〉 《木》
 /' saki / [saki] 〈サキ〉 《酒》
 /' bikidum / [bikidum] 〈ビキドゥム°〉
 《男》
 /k i / : /c i k i / [ts i k i] 〈ツクス〉 《聞く》
 /' nak i / [nak i] 〈ナクス〉 《泣く》
 /ka/ : /katamus i / [katamus i] 〈カタムス〉
 《肩》
 /' ka' i / [kai] 〈カイ〉 《彼》
 /' kaRgi / [ka : gi] 〈カーギ〉 《容姿》
 /ku/ : /kuR / [ku :] 〈クー〉 《粉》
 /' fuku / [fuku] 〈フク〉 《肺臓》
 /' kubi / [kubi] 〈クビ〉 《壁》
 /' kuRsu / [ku : su] 〈クースウ〉 《唐辛
 子》
 /kja/ : /kjaRri / [kja : ri] 〈キヤーリ〉 《消
 える》、/' fukjagi / [fukjagi] 〈フウ
 キヤギ〉 《おはぎ》
 /kju/ : /kjuR / [kju :] 〈キュー〉 《きょう》
 /' sakjuR / [sakju :] 〈サキュー〉 《咲
 いている》
 /gi/ /g i/ /ga/ /gu/ /gja/ /gju/
 [gi] [g i] [ga] [gu] [gja] [gju]
 語例は次のとおりである。
 /gi/ : /p i gi / [p i gi] 〈プスギ〉 《髭》 /pagi
 /' [pagi] [パギ] 《禿》
 /' kagi / [kagi] 〈カギ〉 《影》
 /g i / : /g i s i k i / [g i s i k i] 〈グスクス〉 《す
 すき》、/' tug i / [tug i] 〈トゥグス〉 《研
 ぐ》、/' c i g i / [ts i g i] 〈ツグス〉 《注
 ぐ》
 /ga/ : /' aga i / [aga i] 〈アガイ°〉 《東》

/kagaM/[kagam] 〈カガム°〉 《鏡》
 /gadaM/[gadzam] 〈ガザム°〉 《蚊》
 /gu/ : /ciɣusi/[tsiɣusi] 〈ツグス〉 《膝》
 /guR/[gu:] 〈グー〉 《同じ》
 /gusaN/[guʃaŋ] 〈グシヤン〉 《杖》
 /gja/ : /ŋgjaR·ŋgja/[ŋgja:ŋgja] 〈ンギヤ
 ーンギヤ〉 《にがい》
 /upugjaN/[upugjaŋ] [ウプギヤン] 《唐キビ、
 なみもろこし》
 /gju/ : /kugjuR/[kugju:] 〈クギュー〉 《漕
 いでいる》
 /tugjuR/[tugju:] 〈トゥギュー〉 《研いでい
 る》

5-3. 前口蓋音素

保良方言の前口蓋音素には、/t, d, c, s, z, r, n/があり、それぞれ次のように表れる。

保良方言では/ti/が/ci/に変化するため/ti/が確認できなかつた。たとえば共通語の《手》[te]は保良方言で[tʃi:]なる。また、保良方言では/tja/が/tʃa/に変化し/tju/も/tʃu/に変化するため/tja/、/tju/の音素が確認できなかつた。

そして、/ca/も/ta/に変化し/ca/音素としては確認できなかつた。それに、保良方言ではほかの方言の/za/が/da/に変化し、/zu/も/du/に変化する。

5-3-1. /t/ (前口蓋、破裂、無声音)

/ti/ /ta/ /tu/ /tja/ /tju/
 [tʃi] [tʃa] [tu] [tja] [tju]
 語例は次のようになる。
 /ti/ : /tiN/[tin] 〈ティン〉 《天》
 /tiR/[ti:] 〈ティー〉 《手》
 /tida/[tida] 〈ティダ〉 《太陽》
 /ta/ : /taki/[taki] 〈タキ〉 《竹》

/Mta/[mta] 〈ム°タ〉 《土》
 /ta'i/[tai] 〈タイ°〉 《たいまつ》
 /sitasa/[sitasa] 〈スタサ〉 《舅》
 /tu/ : /situmuti/[situmuti] 〈ストゥムテ
 イ〉 《朝》
 /MRbatu/[m:batu] 〈ム°ーバトウ〉
 《鳩》, /'utu/[utu] 〈ウトウ〉 《音》
 /to/は母音/o/が次の/toR/[o:]の長音で
 現れる語例しか存在しない。またご例
 も少ない。
 /to/ : /toRVva/[to:vva] 〈トーヴヴァ〉 《台
 所》
 /piNtoR/[pinto:] 〈ピントー〉 《返
 答》、/toRni/[to:ni] 〈トーニ〉 《家
 畜の餌箱》
 /tja/ : /tatjaRs·/[tatja:s·] 〈タテヤ
 ース〉 《酒を水で割ること》
 /'asatjaR/[asatja:] 〈アサチャー〉 《明後
 日は》

5-3-2. /d/ (前口蓋、破裂、有声音)

/di/ /da/ /du/ /dja/ /dju/
 [dʒi] [da] [du] [dʒa] [dju]
 語例は次のようになる。
 /di/ : /'uzi/[udʒi] 〈ウジ〉 《腕》
 /'izi/[idʒi] 〈イジ〉 《出る》
 /da/ : /daraka/[daraka] 〈ダラカ〉 《嘘》
 /padaka/[padaka] 〈パダカ〉 《裸》
 /Vda'i/[Vdai] 〈ヴダイ〉 《太る》
 /dakʲi/[dakʲi] 〈ダクス〉 《抱く》
 /daRV/[da:v] 〈ダーヴ〉 《道具》
 /du/ : /duku/[duku] 〈ドゥク〉 《毒》
 /duru/[duru] 〈ドゥル〉 《泥》
 /duR/[du:] 〈ドゥー〉 《体、自分》
 /dusʲi/[dusʲi] 〈ドゥス〉 《友達》
 /dja/ : /'udjaR/[udja:] 〈ウヂャー〉 《腕
 は》、/sudjaR/[sudja:] 〈スウヂャ

一) 《袖は》

/dju/ : /'udjuR/[udju:] <ウデュー> 《腕を》
/sudjuR/[sudju:] <スウデュー> 《袖を》

5-3-3. /c/ (前口蓋、破擦音、無声音)

/ci/ /cī/ /ca/ /cu/ /cja/ /cju/
[tsi] [tsī] [tsa] [tsu] [tʃu] [tʃu]

語例は次の通り。

/ci/ : /cibita'ī/[tʃitaī] <チビタイ°> 《尻》
/'itaci/[itatʃi] <イタチ> 《こぼす》
/cibinuM/[tʃinum] <チビヌム°> 《肛門》

/cī/ : /'umaci/[umatsī] <ウマツ> 《火》
/fuci/[futsī] <フウツ> 《口》
/cīR/[tsī:] <ツー> 《乳》
/'jadufuci/[jadufut·i] <ヤドウフウツ> 《戸口》

/ca/ : /'atsa/[atsa] <アツア> 《明日》
/manatsa/[manatsa] <マナツア> 《まな板》

/cu/ : /tsufu/[tsufu] <ツウフウ> 《作る》
/Mtsu/[mtsu] <ム°タ> 《土》

/cja/ : /cjaR/[tʃa:] <チャー> 《お茶》
/caRs·/[tʃa:sī] <チャース> 《合わせる》

/cju/ : /cjuRka/[tʃu:ka] <チューカ> 《急須》

5-3-4. /s/ (前口蓋、摩擦、無声音)

/si/ /sī/ /sa/ /su/ /sja/ /sju/
[si] [sī] [sa] [su] [ʃa] [ʃu]

語例は次の通り。

/si/ : /'asi/[afi] <アシ> 《汗》
/siRgu/[ʃi:gu] <シーグ> 《小刀》
/siR/[ʃi:] <シー> 《岩瀬》
/paRsi/[pa:ʃi] <ピヤーシ> 《早く

に》

/sī/ : /sīma/[sīma] <スマ> 《島、村落》
/'isī/[isī] <イス> 《石》
/musī/[musī] <ムス> 《虫》
/sīRsi/[sī:sī] <スース> 《肉》

/sa/ : /saki/[saki] <サキ> 《酒》
/saRru/[sa:ru] <サール> 《かまきり》、/fusa/[fusa] <フウサ> 《草》
/sami/[sami] <サミ> 《アトピー皮膚炎》

/su/ : /fusu'ī/[fusuī] <フウスウイ°> 《薬》
/'upusu/[upusu] <ウプスウ> 《潮》
/maRsu/[ma:su] <マースウ> 《塩》
/fusu/[fusu] <フウスウ> 《大便》

/sja/ : /gusjaN/[guʃaŋ] <グジャン> 《杖》
/sjaka/[ʃa:ka] <シャーカ> 《早朝》
/siRsjja/[ʃi:ʃa] <シーシャ> 《獅子》

/sju/ : /sjuR/[ʃu:] <シュー> 《祖父》
/sjuRmaNbausjuR/[ʃu:manbauʃu:] <シューマンバウシュー> 《梅雨》

5-3-5. /z/ (前口蓋、摩擦音、有声音)

/zi/ /zī/ /da/ /zu/ /zja/ /zju/
[dzi] [dzī] [da] [du] [dʒa] [dʒu]

語例は次の通り。

/zi/ : /kazi/[kadʒi] <カジ> 《風》
/Ndzi/[ndʒi] <ンジ> 《どれ》
/ziN/[dʒiŋ] <ジン> 《銭》

/zī/ : /'uziM/[udzīm] <ウズム°> 《埋める》
/'azi/[adzī] <アズ> 《味》
/zīR/[dzī:] <ズー> 《地面、字》
/tuzi/[tudʒi] <トゥズ> 《妻》

/da/ : /piNda/[pinda] <ピンダ> 《山羊》
/gadaN/[gadan] <ガダン> 《蚊》

/zu/ : /zu/[dzu:] <ズー> 《尻尾》
/gaNzuR/[gandzu:] <ガンズー>

《丈夫》

/zja/ : /'uruzjaRN/[urudzɑ : ŋ] <ウルジャー
ーン> 《降りない》/mutazjaRN/[mutadzɑ : ŋ] <ムタジ
ャーン> 《持たない》/zju/ : /kazjuR/[kadzɯ :] <カジュー> 《風
を〜》、/NzjuRga/[ndzɯ : ga] <ンジ
ューガ> 《どれを〜》

5-3-6. /r/ (前口蓋、弾き音)

/ri/ /ra/ /ru/ /rja/ /rju/
[ri] [ra] [ru] [rja] [rju]

語例は次の通り。

/ri/ : /nariRdu/[nari : du] <ナリードゥ>
《慣れている》、/pari/[pari] <パ
リ> 《畑》、/puri/[puri] <プリ>
《掘れ》/ra/ : /patarakī/[patarakī] 「パタラクス
《働く》、/pira/[pira] <へラ> 《へ
ら》、/puras·/[purasī] <プラス>
《騙す》、/para/[para] <パラ> 《柱》/ru/ : /tamuru/[tamuru] <タムル> 《薪》
/'uriru/[uriru] <ウリル> 《降りろ》/rja/ : /karjaR.kuRN/[karja : ·] <カヤー
クーン> 《彼は来ない》/'urjaR.na'uga/[urja : nauga] <ウ
リャーナウガ> 《それはなにか》/rju/ : /kjuR.fiRru/[kurju : fi : ru] <ク
リューフイーール> 《これをくれ》
/karjuR.'abiri/[karju : abiri] <カ
リュアビリ> 《彼を呼べ》

5-3-7. /n/ (前口蓋、鼻音)

/ni/ /na/ /nu/ /nja/ /nju/
[ni] [na] [nu] [nja] [nju]

語例は次の通り。

/ni/ : /niR/[ni :] <ニー> 《煮る》

/nis·/[nis·] <ニス> 《西》

/pani/[pani] <パニ> 《羽》

/puni/[puni] <プニ> 《骨》

/na/ : /naR/[na :] <ナー> 《名前》

/na'i/[nai] <ナイ> 《地震》

/naba/[naba] <ナバ> 《垢》

/nada/[nada] <ナダ> 《涙》

/nu/ : /nunu/[nunu] <ヌヌ> 《布》

/cīnu/[tsīnu] <ツヌ> 《角》

/nuRma/[nu : ma] <ヌーマ> 《馬》

/nuR/[nu :] <ヌー> 《野原》

/nja/ : /njaRN/[na : ŋ] <ニャーン> 《ない》
/njaRbi/[na : bi] <ニャービ> 《真
似》/nju/ : /muRdu.njuR'/[munu : du.ɟu :] <ム
ヌードゥニュー> 《物を煮ている》/panjuR.nausī/[paɟu : nausī] <パニ
ューナウス> 《羽を直す》

5-4. 両唇音

保良方言の両唇音には、/p/、/b/、/
m/の3個が認められる。そのモーラ体型は次
のようになる。

5-4-1. /p/ (両唇音、破裂、無声音)

/pi/ /pī/ /pa/ /pu/ /pja/ /pju/
[pi] [pī] [pa] [pu] [pja] [pju]

語例は次の通り。

/pi/ : /piR/[pi :] <ピー> 《屁》

/pidzī/[pidzī] <ピズ> 《肘》

/pina'ī/[pinaī] <ピナイ°> 《減る》

/pi'ī/[piī] <ピイ°> 《行く》

/pī/ : /pītu/[pītu] <ピストゥ> 《人》

/pīsīma/[pīsīma] <ピスマ> 《昼間》

/pīsugi/[pīsugi] <ピスウギ> 《広
げる》

/pīkī/[pīkī] <ピクス> 《引く》

/pa/ : /paR/ [pa:] <パー> 《齒》
 /pana/ [pana] <パナ> 《花》
 /paka/ [paka] <パカ> 《墓》
 /pari/ [pari] <パリ> 《畑》
 /pu/ : /puni/ [puni] <プニ> 《骨》
 /puR/ [pu:] <プー> 《穂》
 /pusi/ [pusi] <プス> 《星》
 /puki/ [puki] <プキ> 《ゴミ》
 /pja/ : /pjaRmu/ [pja: mu] <ピヤームヌ> 《早い者》、/pjaRku/ [pja: ku] <ピヤーク> 《百》、/pjaRri/ [pja: ri] <ピヤーリ> 《干ばつ》
 /pju/ : /'asi'pjuRsa'i/ [asi'pju: sai] <アスピーューサイ> 《遊んでいなさい》

5-4-2. /b/ (両唇音、破裂、有声音)

/bi/ /bī/ /ba/ /bu/ /bja/ /bjū/
 [bi] [bī] [ba] [bu] [bja] [bjū]

語例は次の通り。

/bi/ : /bikiduM/ [bikidum] <ビキドゥム°> 《男》、/nabi/ [nabi] <ナビ> 《鍋》
 /'u'ibi/ [uibi] <ウイビ> 《指》
 /biR' i/ [bi: i] <ビーイ°> 《とんぼ》
 /bī/ : /kabi/ [kabi] <カブス> 《紙》
 /bīR/ [bī:] <ブスー> 《座る》
 /'jubī/ [jubī] <ユブス> 《吸う》
 /Mbi/ [mbi] <ム°ブス> 《伸びる》
 /ba/ : /naba/ [naba] <ナバ> 《垢》
 /saba/ [saba] <サバ> 《ぞうり》
 /ba' i/ [baī] <バイ°> 《割る》
 /bakamunu/ [bakamunu] <バカムヌ> 《若者》
 /bu/ : /MRbu/ [m: bu] <ム°ーブ> 《へそ》
 /butu/ [butu] <ブトゥ> 《夫》
 /buRzi/ [bu: dzi] <ブーズ> 《サトウキビ》
 /bu' i/ [buī] <ブイ°> 《折る》

/bja/ : /bjaRsi/ [bja: si] <ビヤーシ> 《酔わせ》、/nabjaRra/ [nabja: ra] <ナビヤーラ> 《へちま》
 /bjū/ : /bjūR/ [bjū:] <ビュー> 《酔う》
 /nabjuR/ [nabju:] <ナビュー> 《鍋を》、/kabjuR/ [kabju:] <カビュー> 《(においを) 嗅いでいる》

5-4-3. /m/ (唇音、鼻音)

/mi/ /ma/ /mu/ /mja/ /mju/
 [mi] [ma] [mu] [mja] [mju]

語例は次の通り。

/mi/ : /miM/ [mim] <ミム°> 《耳》
 /miR/ [mi:] <ミー> 《目》
 /'jumi/ [jumi] <ユミ> 《嫁》
 /miduM/ [midum] <ミドゥム°> 《女》
 /ma/ : /ma' i/ [maī] <マイ°> 《米》
 /maRsu/ [ma: su] <マース> 《塩》
 /mami/ [mami] <マミ> 《豆》
 /maR' i/ [ma: i] <マーイ°> 《まり》
 /mu/ : /musi/ [musi] <ムス> 《虫》
 /muQsu/ [mussu] <ムッスウ> 《筵》
 /situmuti/ [situmuti] <ストゥムテイ> 《朝》
 /muku/ [muku] <ムク> 《婿》
 /mja/ : /mjaRkufuci/ [mja: kufutsi] <ミヤークフウツ> 《宮古方言》
 /mjaRciKi/ [mja: tsiki] <ミヤーツクス> 《植物名・かたばみ》
 /'umjasi/ [umjasi] <ウミヤス> 《箸》
 /mju/ : /mjuRtu/ [mju: tu] <ミュートウ> 《夫婦》、/mjuR' i/ [mju: i] <ミューイ°> 《姪》、/'imjuR.miR/ [imju: mi:] <イミュー・ミー> 《夢を見る》

5-5. 唇歯音音素

保良方言においては、唇歯音音素として /f

／と／v／の2つの音素が認められる。／f／と／v／は単独でモーラを形成することができる。これについては後で述べる。

5-5-1. /f/ (唇歯、摩擦、無声音)

/fi/ /fa/ /fu/ /fja/ /fju/
[fi] [fa] [fu] [fja] [fju]

語例は次の通り。

／fi／: /fiR/ [fi:] 〈フィー〉 《呉れる》
 /kaFi/ [kafi] 〈カフィ〉 《隠す》
 /suFfi/ [suffi] 〈スッフイ〉 《揃う》、
 /Ffi/ [ffi] 〈フフィ〉 《噛め》
／fa／: /Qfa/ [ffa] 〈フファ〉 《子供》
 /Qfari/ [ffari] 〈フファリ〉 《噛まれる》、
 /faRN/ [fa:ŋ] 〈ファーン〉 《食べない》
／fu／: /funi/ [funi] 〈フウニ〉 《船》
 /fusi/ [fusi] 〈フウス〉 《櫛》
 /fura/ [fura] 〈フウラ〉 《鞍》
 /fusu' i/ [fusu·] 〈フウスウイ°〉 《くすり》
／fja／: /FfjaR. naraN/ [ffja: naraŋ] 〈フジャー.
 ナラン〉 《噛んではいけない》
 /kafjaR. naraN/ [kafja: . naraŋ] 〈カ
 ジャー.
 ナラン〉 《隠れてはいけない》
／fju／: /kafjuR' i/ [kafju: ' i] 〈カフュー
 イ°〉 《隠れている》

5-5-2. /v/ (歯音、摩擦、有声音)

/vi/ /va/ /vu/ /vja/ /vju/
[vi] [va] [vu] [vja] [vju]

語例は次の通り。

／vi／: /Vvi/ [vvi] 〈ヴヴィ〉 《売れ》
 /niVvi/ [nivvi] 〈ニヴヴィ〉 《眠れ》
 /kaVvi/ [kavvi] 〈カヴヴィ〉 《被れ》
／va／: /vad·aRN/ [vvad·a:ŋ] 〈ヴヴァジ
 ヤーン〉 《売らない》

 /'aVva/ [avva] 〈アヴヴァ〉 《油》
／vu／: /daRVvu/ [da:vvu. tui] 〈ダーヴ
 ヴウ.
 トウイ〉 《道具をとれ》
 /'juVvu. fa' i/ [juvvu. fai] 〈ユヴ
 ヴ
 ウ.
 ファイ〉 《お粥を食べなさい》
 /kuRVvu. tu' i/ [ku: vvu. tui] 〈ク
 ー
 ヴ
 ヴウ.
 トウイ〉 《蜘蛛を捕れ》
／vju／: /VvjuR' i/ [.vvju: i] 〈ヴ
 ヴ
 ュー
 イ°〉
 《魚を売っている》

6. モーラ音素

保良方言のモーラ音素は、／Q／、／M／、／N／、／R／、／F／、／V／がある。語例は次の通りである。母音のほかに／M／、／N／、／V／が長音化する。

6-1. /Q/ (つまる音)

／Q／には、[p, d, s, z,]があるが、限られた言葉にしか表出しない。
／p／: /'aQp i/ [appi] 〈アッパス〉 《遊ぶ》
 /'iQpaN/ [appaŋ] 〈アッパン〉 《遊ばない》
／d／: /'aQda/ [adda] 〈アツツァ〉 《下駄》
 /muQda/ [mudda] 〈ムツツァ〉 《餅は～》
／s／: /Qs i/ [ssi] 〈ツス〉 《する》
 /QsaM/ [ssam] 〈ツサム°〉 《虱》
／z／: /miQzu/ [middzu] 〈ミツズウ〉 《水を》
 /saQzu/ [saddzu] 〈サツズウ〉 《手ぬぐいを》

6-2. /M/ (両唇、鼻音)

/'iM/ [im] 〈イム°〉 《海》、/kaM/ [kam] 〈カム°〉 《神》、/Mdu/ [mdu] 〈ム°ドウ〉 《みぞ》、/MR/ [m:] 〈ム°ー〉 《いも》、/nuM/ [num] 〈ヌム°〉 《蚤》、/'aM/ [am] 〈アム°〉 《網》、/kaMtu' juM/ [kamtujum] 〈カム°トウ

ユム°) 《雷》、/Mta/[mta] 〈ム°タ〉 《土》、
/’aMdira/[amdira] 〈アム°ディラ〉 《農具の
一種》、/MRku/[m:ku] 〈ム°ーク〉 《膿》

6-3. /N/ (前口蓋、鼻音)

/’iN/[ij] 〈イン〉 《犬》、/Nnapi/[nnapi]
〈ンナピ〉 《もつと》、/kaN/[kaŋ] 〈カン〉
《蟹》、/Ngi/[ŋi] 〈ンギ〉 《とげ》、/Nkai
/[kai] 〈ンカイ〉 《迎え》、/Nkaza/[kadza]
〈ンカザ〉 《ムカデ》

6-4. /F/ (唇歯、摩擦、無声音)

/suF/[suf] 〈スッフ〉 《掬う》、/kaFcī/
[kaftsi] 〈カフツ〉 《家の周囲の菜園畑》、
/Ffacī/[ffatsi] 〈フファツ〉 《鋏》、/Ffa
/[ffa] 〈フファ〉 《子ども》

6-5. /V/ (唇歯、摩擦、有声音)

/sīV/[siv] 〈スヴ〉 《冬瓜》、/Vva/[vva]
〈ヴヴァ〉 《君》、/VR/[v:] 〈ヴー〉 《売る》、
/kiVsī/[kivsi] 〈キヴス〉 《煙》、
/niV/[niv] 〈ニヴ〉 《眠る》、/niVsari/
[nivsari] 〈ニヴサリ〉 《煮物が傷むこと》、
/ciV/[tʃiv] 〈チヴ〉 《投げる》、/Vda’i/
[vdai] 〈ヴダイ〉 《太る》

6-6. /R/ (長音)

母音の外に[n, m, v]が長音化する。

/i/ : /ciR/[tʃi:] 〈チー〉 《手》
/kiR/[ki:] 〈キー〉 《木》
/miR/[mi:] 〈ミー〉 《目》
/MmiR/[mmi:] 〈ム°ミー〉 《熟した》
/ī/ : /cīR/[tsī:] 〈ツー〉 《乳房》
/kīR/[kī:] 〈クスー〉 《着る》
/’īR/[ī:] 〈イ°ー〉 《叱る》
/sīR/[sī:] 〈スー〉 《する》
/a/ : /kaR/[ka:] 〈カー〉 《皮》

/cjaR/[tʃa:] 〈チャー〉 《お茶》
/mamimaRrja/[mamima:rja] 〈マミマ
ーリヤ〉 《つばめ》

/u/ : /duR/[du:] 〈ドゥー〉 《尻尾》
/’uRgī/[u:gi] 〈ウーグス〉 《泳ぐ》
/kuRN/[ku:n] 〈クーン〉 《来ない》
/fuR/[fu:] 〈フゥー〉 《降る》
/m/ : /MRgi/[m:gi] 〈ム°ーギ〉 《芋蔓》
/MRku/[m:ku] 〈ム°ーク〉 《膿》
/MR/[m:] 〈ム°ー〉 《芋》
/MRna/[m:na] 〈ム°ーナ〉 《かたつ
むり》

/n/ : /NR/[n:] 〈ニー〉 《荷》
/NRdakari/[n:dakari] 〈ンーダカリ〉
《似ている》
/v/ : /vR/[v:] 〈ヴー〉 《売る》

7. 音韻対応

宮古島方言は、保良方言だけではなくすべてにおいて、音韻や文法において独自の言語形態を有している。単語そのものが共通語と対応する言葉は少なく、ほとんど宮古独自の言葉になっている。したがって、ここで示す音韻の対応する言葉は、ほとんど限られた言葉であり、共通語の方言的借用で使用されている言葉もある。共通語にこの音韻の対応を用いても、宮古方言の言葉としてはほとんど成立しない。しかし、ここで述べる共通語との音韻対応によって保良方言が日本語であるという側面は理解できる。

7-1. 母音の対応

保良方言の母音音素には、[i, ī, a, u,]の4個である。[ī]母音は中舌母音と呼ばれ宮古方言の特徴的な母音である。保良方言の短母音と共通語の短母音は次のように対応する。

共通語	a	i	u	e	o
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	a	ī, i	ī, u	i	u

このように共通語の /e/ と /o/ の短母音が保良方言では /i/ と /u/ の短母音に変化するため保良方言には /e/ と /o/ の短母音がないという特徴がある。

次にその語例を示す。

7-1-1. /a/ と /a/ の対応

共通語	保良方言	
《雨》	/ame/	/ami/[ami] 〈アミ〉
《歯》	/ha/	/paR/[pa:] 〈パー〉
《豆》	/mame/	/mami/[mami] 〈マミ〉
《鞍》	/kura/	/fura/[fura] 〈フウラ〉
《花》	/hana/	/pana/[pana] 〈パナ〉

7-1-2. /e/ と /i/ の対応

共通語	保良方言	
《手》	/te/	/ciR/[tʃi:] 〈チー〉
《目》	/me/	/miR/[mi:] 〈ミー〉
《声》	/koe/	/kui/[kui] 〈クイ〉
《汗》	/ase/	/asi/[afi] 〈アシ〉
《屁》	/he/	/piR/[pi:] 〈ピー〉

7-1-3. /i/ と /i/ の対応

共通語	保良方言	
《荷》	/ni/	/niR/[ni:] 〈ニー〉
《木》	/ki/	/kiR/[ki:] 〈キー〉
《犬》	/inu/	/iN/[in] 〈イン〉
《煮る》	/niru/	/niR/[ni:] 〈ニー〉
《見る》	/miru/	/miR/[mi:] 〈ミー〉

7-1-4. /i/ と /ī/ の対応

共通語の子音音素 /k, h, g, b, c, z, s/ の後にくる /i/ は、保良方言では /ī/ の中舌母音に変化する。ただし《木》の場合は中

舌母音に対応せず /kiR/ となる。これは、日本祖語のとの関わりでいろいろな説明がなされているが今後検討が必要である。

共通語	保良方言	
《息》	/iki/	/ikī/[ikī] 〈イクス〉
《引く》	/hiku/	/pikī/[pikī] 〈プスクス〉
《麦》	/mugi/	/mugī/[mugī] 〈ムグス〉
《髭》	/hige/	/pīgi/[pīgi] 〈プスグス〉
《味》	/azi/	/azī/[adzī] 〈アズ〉
《口》	/kuci/	/fucī/[futsī] 〈フウツ〉
《旅》	/tabi/	/tabī/[tabī] 〈タブス〉
《釘》	/kugi/	/fugī/[fugī] 〈フウグス〉
《橋》	/hasi/	/pasī/[pasī] 〈パス〉
《字》	/zi/	/zīR/[dzī:] 〈ズー〉

7-1-5. /u/ と /ī/ の対応

共通語の子音音素 /c, z, s/ の後にくる /u/ は保良方言では /ī/ に対応する。

共通語	保良方言	
《爪》	/cume/	/cīmi/[tsīmi] 〈ツミ〉
《水》	/mizu/	/mizī/[midzī] 〈ミズ〉
《酢》	/su/	/sīR/[sī:] 〈スー〉
《積む》	/cumu/	/cīM/[tsīm] 〈ツム°〉
《臼》	/usu/	/usī/[usī] 〈ウス〉

また、保良方言の動詞終止形は、語尾の歯音音素が /k, g, b/ の場合、それに付く母音 /u/ はすべて母音 /ī/ に変化し、/ku/ → /kī/、/gu/ → /gī/、/bu/ → /bī/ となる。語例を示す。

共通語	保良方言	
《書く》	/kaku/	/kakī/[kakī] 〈カクス〉
《泳ぐ》	/ojogu/	/uRgī/[u:gi] 〈ウーグス〉
《脱ぐ》	/nugu/	/Ngī/[ngī] 〈ングス〉
《飛ぶ》	/tobu/	/tubī/[tubī] 〈トゥブス〉
《聞く》	/kiku/	/kīkī/[kīkī] 〈クスクス〉
《嗅ぐ》	/kagu/	/kabī/[kabī] 〈カブス〉

7-1-6. /u/が/u/と対応

共通語	保良方言	
《牛》	/ʼusi/	/ʼusɪ/[usɪ] 〈ウス〉
《縫う》	/nuʼu/	/nuR/[nu:] 〈ヌー〉
《瓜》	/ʼuri/	/ʼuʼi/[uɪ] 〈ウイ°〉
《黒い》	/kuroʼi/	/ffuRffu/[ffu:ffu] 〈フ フーフフウ〉

7-1-7. /o/と/u/が対応

共通語	保良方言	
《起きる》	/ʼokiru/	/ʼuki/[uki] 〈ウキ〉
《粉》	/kona/	/kuR/[ku:] 〈クー〉
《親》	/oʼja/	/ʼuʼja/[uja] 〈ウヤ〉
《声》	/koe/	/kuʼi/[kui] 〈クイ〉
《骨》	/hone/	/puni/[puni] 〈プニ〉
《肝》	/kimo/	/cimu/[tsimu] 〈ツム〉

保良方言では、連母音は次のように対応する。

7-1-8. /oe/が/ui/と対応

共通語	保良方言	
《声》	/koʼe/	/kuʼi/[kui] 〈クイ〉
《添える》	/soʼeru/	/suʼi/[sui] 〈スウイ〉
《越える》	/koʼeru/	/kuʼi/[kui] 〈クイ〉

7-1-9. /ai/が/ai/に対応

共通語	保良方言	
《額》	/kitaʼi/	/futaʼi/[futai] 〈フウタイ〉

7-1-10. /ae/が/ai/に対応

共通語	保良方言	
《生える》	/haʼeru/	/paʼimunu/[paimunu] 〈パイムヌ〉
《南》	/haʼe/	/paʼi/[pai] 〈パイ〉

7-2. 子音の対応

7-2-1. カ行子音の対応

共通語	/ki/	/ke/	/ka/
	↓	↓	↓
保良方言	/ki/	/kɪ/	/ki/
共通語	/ku/	/ko/	
	↓	↓	
保良方言	/fu/	/ku/	

7-2-1-1. /ki/が/ki/に対応

共通語	保良方言	
《木》	/ki/	/kiR/[ki:] 〈キー〉
《傷》	/kizi/	/kizɪ/[kizɪ] 〈キズ〉

7-2-1-2. /ki/が/kɪ/に対応

共通語	保良方言	
《聞く》	/kiku/	/kɪkɪ/[tsɪkɪ] 〈クスクス〉
《肝》	/kimo/	/kɪM/[tsɪm] 〈クスム°〉
《息》	/ʼiki/	/ʼikɪ/[ikɪ] 〈イクス〉
《着物》	/kimono/	/kɪN/[kɪŋ] 〈クスン〉

7-2-1-3. /ke/が/ki/に対応

共通語	保良方言	
《蹴る》	/keru/	/kiʼi/[kiɪ] 〈キイ°〉
《酒》	/sake/	/saki/[saki] 〈サキ〉
《書け》	/kake/	/kaki/[kaki] 〈カキ〉
《負ける》	/makeru/	/maki/[maki] 〈マキ〉

7-2-1-4. /ka/が/ka/に対応

共通語	保良方言	
《鏡》	/kagami/	/kagaM/[kagam] 〈カガム°〉
《彼》	/kare/	/kaʼi/[kai] 〈カイ〉
《書く》	/kaku/	/kakɪ/[kakɪ] 〈カクス〉
《紙》	/kami/	/kabɪ/[kabɪ] 〈カブス〉

7-2-1-5. /ku/が/fu/に対応

共通語	保良方言	
《鞍》	/kura/	/fura/[fura] 〈フウラ〉
《薬》	/kusuri/	/fusuʼi/[fusuɪ] 〈フウスイ°〉

《草》	/kusa/	/fusa/[fusa]	〈フウサ〉
《糞》	/kuso/	/fusu/[fusu]	〈フウスウ〉
《汲む》	/kumu/	/kuM/[fum]	〈フウム [°] 〉

7-2-1-6. /ku/が/kī/に対応

共通語	保良方言			
《書く》	/kaku/	/kākī/[kākī]	〈カクス〉	
《聞く》	/kiku/	/kikī/[kikī]	〈キクス〉	
《咲く》	/saku/	/sakī/[sakī]	〈サクス〉	
《泣く》	/naku/	/nakī/[nakī]	〈ナクス〉	

7-2-1-7. /ko/が/ku/に対応

共通語	保良方言			
《腰》	/kosi/	/kusī/[kusī]	〈クス〉	
《漕ぐ》	/koku/	/kugī/[kugī]	〈クグス〉	
《声》	/ko'e/	/ku'i/[kui]	〈クイ〉	

7-2-2. ガ行子音対応

共通語	/gi/	/ge/	/ga/	/gu/	/go/
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	/gī/	/gi/	/ga/	/v/	/gu/

7-2-2-1. /gi/が/gī/に対応

共通語	保良方言			
《釘》	/kugi/	/fugī/[fugī]	〈フウグス〉	
《麦》	/mugi/	/mugī/[mugī]	〈ムグス〉	
《鋸》	/nokogiri/	/nukugī/[nukugī]	〈ヌクグス〉	
《右》	/migi/	/Ngī/[ŋgī]	〈ングス〉	

7-2-2-2. /ge/が/gi/に対応

共通語	保良方言			
《髭》	/hige/	/pīgi/[pīgi]	〈プスキ〉	
《影、陰》	/kage/	/kagi/[kagi]	〈カギ〉	
《曲げる》	/mageru/	/magi/[magi]	〈マギ〉	
《漕げ》	/koge/	/kugi/[kugi]	〈クギ〉	

7-2-2-3. /ga/が/ga/に対応

共通語	保良方言			
《鏡》	/kagami/	/kagaM/[kagam]	〈カガム [°] 〉	
《流れる》	/nagareru/	/nagari/[nagari]	〈ナガリ〉	
《曲がる》	/magaru/	/naga'i/[magaī]	〈マガイ [°] 〉	
《上がる》	/'agaru/	/'aga'i/[agaī]	〈アガイ [°] 〉	

7-2-2-4. /gu/が/gī/に対応

(動詞の終止形の語尾のみに表出)

共通語	保良方言			
《漕ぐ》	/kogu/	/kugī/[kugī]	〈クグス〉	
《泳ぐ》	/o'jogu/	/uRgī/[u:gī]	〈ウーグス〉	
《研ぐ》	/togu/	/tugī/[tugī]	〈トゥグス〉	
《注ぐ》	/cugu/	/cīgī/[tsīgī]	〈ツグス〉	

7-2-2-5. /gu/が/gu/に対応

確認できなかった。

7-2-2-6. /gu/が/v/に対応

(次の二つの単語しか確認できなかった。)

共通語	保良方言			
《たぐる》	/taguru/	/taV/[tav]	〈タヴ〉	
《道具》	/do'ugu/	/daRV/[da:v]	〈ダーヴ〉	

7-2-2-7. /go/が/gu/に対応

共通語	保良方言			
《碁》	/go/	/guR/[gu:]	〈ゲー〉	
《かご》	/kago/	/kagu/[kagu]	〈カグ〉	
《小声》	/kogo'e/	/imigu'i/[imigui]	〈イミグイ〉	

7-2-3. サ行子音の対応

共通語	/si/	/se/	/sa/	/su/	/so/
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	/sī/	/si/	/sa/	/sī/	/su/

7-2-3-1. /si/が/si/に対応

共通語	保良方言
《島》 /sima/	/sīma/[sīma] 〈スマ〉
《櫛》 /kusi/	/fusī/[fusī] 〈フウス〉
《虫》 /musi/	/musī/[musī] 〈ムス〉
《石》 /'isi/	/'isī/[isī] 〈イス〉

7-2-3-2. /se/が/si/対応

共通語	保良方言
《瀬》 /se/	/siR/[fi:] 〈シー〉
《汗》 /'ase/	/'asi/[afi] 〈アシ〉
《加勢》 /kase'i/	/kasiR/[kafi:] 〈カシー〉
《寄せる》 /'joseru/	/'jusi/[jufi] 〈ユシ〉

7-2-3-3. /sa/が/sa/に対応

共通語	保良方言
《草》 /kusa/	/fusa/[fusa] 〈フウサ〉
《咲く》 /saku/	/sakī/[sakī] 〈サクス〉
《鋏》 /hasami/	/pasaM/[pasam] 〈パサム°〉
《三味線》 /samiseN/	/saNsiN/[sanfiŋ] 〈サンシン〉

7-2-3-4. /su/が/si/に対応

共通語	保良方言
《臼》 /'usu/	/'usī/['usī] 〈ウス〉
《巢》 /su/	/sīR/[sī:] 〈スー〉
《盗む》 /nusumu/	/nusīM/[nusīm] 〈ヌスム°〉
《捨てる》 /suteru/	/sīti/[sīti] 〈スティ〉

7-2-3-5. /so/が/su/に対応

共通語	保良方言
《袖》 /sode/	/sudi/[sudi] 〈スウディ〉
《損》 /soN/	/suN/[sup] 〈スウン〉
《底》 /soko/	/suku/[suku] 〈スウク〉

7-2-4. ザ行子音の対応

共通語	/zi/	/ze/	/za/	/zu/	/zo/
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	/zī/	/ze/	/za/	/zī/	/du/

7-2-4-1. /zi/が/zī/に対応

共通語	保良方言
《地面》 /zimeN/	/zīR/[dzī:] 〈ズー〉
《味》 /'azi/	/'azī/[adzī] 〈アズ〉
《クジ》 /kuzi/	/fuzī/[fudzī] 〈フウズ〉
《字》 /zi/	/zīR/[dzī:] 〈ズー〉

7-2-4-2. /ze/が/zi/に対応

共通語	保良方言
《銭》 /zeni/	/ziN/[dʒiŋ] 〈ジン〉
《風》 /kaze/	/kazi/[kadʒi] 〈カジ〉
《混ぜる》 /mazeru/	/mazi/[madʒi] 〈マジ〉

7-2-4-3. /za/が/da/に対応

共通語	保良方言
《アザ》 /'aza/	/'ada/[ada] 〈アダ〉
《座》 /za/	/daR/[da:] 〈ダー〉

7-2-4-4. /zu/が/zī/に対応

共通語	保良方言
《埋める》 /'uzumeru/	/'uzīmi/[udzīmi] 〈ウズミ〉
《水》 /mizu/	/mizī/[midzī] 〈ミズ〉
《上手》 /zjo'uzu/	/da'uzī/[dauzī] 〈ダウズ〉

7-2-4-5. /zo/が/du/に対応

共通語	保良方言
《溝》 /mizo/	/Mdu/[mdu] 〈ム°ドウ〉

7-2-5. タ行子音の対応

共通語	/ci/	/te/	/ta/	/cu/	/to/
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	/cī/	/ti/	/ta/	/cī/	/tu/

7-2-5-1. /ci/が/ci/に対応

共通語		保良方言
《乳》	/cici/	/ciŋi/[tsiŋi] 〈ツス〉
《口》	/kuci/	/fuci/[fuci] 〈フツツ〉
《餅》	/moci/	/muci/[mutsi] 〈ムツ〉
《道》	/mici/	/Mcŋi/[mtsŋi] 〈ム°ツ〉

7-2-5-2. /te/が/ti/に対応

共通語		保良方言
《手》	/te/	/ti/[tʃi:] 〈チー〉
《天》	/teN/	/tiN/[tiN] 〈チン〉
《捨てる》	/suteru/	/siti/[sitʃi] 〈スチ〉

7-2-5-3. /ta/が/ta/に対応

共通語		保良方言
《田》	/ta/	/taR/[ta:] 〈ター〉
《竹》	/take/	/taki/[taki] 〈タキ〉
《松明》	/ta'imacu/	/ta'ŋi/[taŋi] 〈タイ°〉
《また》	/mata/	/mata/[mata] 〈マタ〉

7-2-5-4. /cu/が/ci/に対応

共通語		保良方言
《持つ》	/mocu/	/muci/[muci] 〈ムツ〉
《綱》	/cuna/	/ciŋa/[ciŋa] 〈ツナ〉
《作る》	/cuhu/	/ciŋu/[ciŋu] 〈ツフウ〉
《釣る》	/curu/	/ciŋi/[ciŋi] 〈ツス〉

7-2-5-5. /to/が/tu/に対応

共通語		保良方言
《鳥》	/tori/	/tu'ŋi/[tuŋi] 〈トウイ°〉
《十》	/to'u/	/tuR/[tu:] 〈トウー〉
《止まる》	/tomaru/	/tuma'ŋi/[tuma'ŋi] 〈トウマイ°〉

7-2-6. ダ行子音の対応

共通語	/zi/	/de/	/da/	/zu/	/do/
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	/zi/	/zi/	/da/	/zi/	/du/

7-2-6-1. /zi/が/zi/に対応

共通語		保良方言
《地》	/zi/	/ziR/[dzi:] 〈ズー〉
《文字》	/mozi/	/ziR/[dzi:] 〈ズー〉
《肘》	/hizi/	/pizi/[pidzi] 〈ピズ〉

7-2-6-2. /de/が/zi/に対応

共通語		保良方言
《腕》	/'ude/	/'uzi/[udʒi] 〈ウジ〉
《袖》	/sode/	/suzi/[sudʒi] 〈スジ〉
《撫でる》	/naderu/	/nazi/[nadʒi] 〈ナジ〉

7-2-6-3. /da/が/da/に対応

共通語		保良方言
《枝》	/'eda/	/'juda/[juda] 〈ユダ〉
《裸》	/hadaka/	/padaka/[padaka] 〈パダカ〉
《育てる》	/sodateru/	/sudaci/[sudatʃi] 〈スウダチ〉
《抱く》	/daki/	/daki/[daki] 〈ダクス〉

7-2-6-4. /zu/が/zi/に対応

共通語		保良方言
《続ける》	/cuzukeru/	/ciŋikasŋi/[ciŋikasŋi] 〈ツズカス〉
《水》	/mizu/	/mizi/[midzi] 〈ミズ〉
《預かる》	/'azukaru/	/'azika'ŋi/[adzika'ŋi] 〈アズカイ°〉

7-2-6-5. /do/が/du/に対応

共通語		保良方言
《毒》	/doku/	/duku/[duku] 〈ドク〉
《泥》	/doro/	/duru/[duru] 〈ドウル〉
《角》	/kado/	/kadu/[kadu] 〈カドゥ〉

7-2-7. ナ行子音の対応

共通語	/ni/	/ne/	/na/
	↓	↓	↓
保良方言	/ni/	/N/	/ni/
共通語	/nu/	/no/	
	↓	↓	
保良方言	/N/	/nu/	/nu/

7-2-7-1. /ni/が/n/に対応

共通語		保良方言
《荷》	/ni/	/niR/[ni:] <ニ>
《煮る》	/niru/	/niR/[ni:] <ニ>

7-2-7-2. /ni/が/N/に対応

◎/ni/が語頭に立つときに/N/が現れる語例は次の通り。

共通語		保良方言
《苦い》	/niga'i/	/NgjaRNgja/[ngja:ngja]
		<苦い>

◎語尾が/n/になったとき/i/が脱落して/N/になる。語例は次の通り。

共通語		保良方言
《蟹》	/kani/	/kaN/[kaŋ] <カン>

7-2-7-3. /ne/が/n/に対応

共通語		保良方言
《骨》	/hone/	/puni/[puni] <プニ>
《船》	/hune/	/funi/[funi] <フウニ>
《羽》	/hane/	/pani/[pani] <パニ>
《根》	/ne/	/niR/[ni:] <ニ>

7-2-7-4. /na/が/n/に対応

共通語		保良方言
《畏》	/wana/	/bana/[bana] <バナ>
《鍋》	/nabe/	/nabi/[nabi] <ナビ>
《涙》	/namida/	/nada/[nada] <ナダ>
《波》	/nami/	/naM/[nam] <ナム>

7-2-7-5. /nu/が/n/に対応

共通語		保良方言
《布》	/nuno/	/nunū/[nunū] <ヌヌ>
《縫う》	/nu'u/	/nuR/[nu:] <ヌー>
《盗む》	/nusumu/	/nusūM/[nusūM] <ヌスム>

7-2-7-6. /nu/が/N/に対応

◎/nu/は母音/u/が脱落して/N/になる。

共通語		保良方言
《犬》	/inu/	/iN/[iŋ] <イン>
《死ぬ》	/sinu/	/siN/[siŋ] <スン>
《抜く》	/nuku/	/Ngī/[ŋgī] <ングス>

7-2-7-7. /no/が/n/に対応

共通語		保良方言
《角》	/cuno/	/ciNu/[ciNu] <ツヌ>
《野原》	/nohara/	/nubari/[nubari] <ヌバリ>
《乗る》	/noru/	/nuR'ī/[nu:i] <ヌーイ>
《飲む》	/nomu/	/nuM/[num] <ヌム>

7-2-8. マ行子音の対応

共通語	/mi/	/me/	/ma/
	↓	↓	↓
保良方言	/mi/	/M/	/mi/
共通語	/mu/	/mo/	
	↓	↓	
保良方言	/mu/	/M/	/mu/

7-2-8-1. /mi/が/m/に対応

共通語		保良方言
《水》	/mizu/	/mizī/[midzī] <ミズ>
《見る》	/miru/	/miR/[mi:] <ミー>
《意味》	/imi/	/imi/[imi] <イミ>

◎音韻の/m//b/相通によって共通語/m/が方言/b/に対応する言葉が保良方言には一部ある。

共通語 保良方言
 《紙》 /kami/ /kabī/[kabī] 〈カブス〉

7-2-8-2. /mi/が/M/に対応

◎/mi/は/i/が脱落して/M/になる。語例は次の通り。

共通語 保良方言
 《網》 /'ami/ /'aM/[am] 〈アム°〉
 《神》 /kami/ /kaM/[kam] 〈カム°〉
 《耳》 /mimi/ /miM/[mim] 〈ミム°〉
 《嶺》 /mine/ /Mmi/[mmi] 〈ム°ミ〉
 《満ちる》 /miciru/ /Mci/[mtʃi] 〈ム°チ〉

7-2-8-3. /me/が/mi/に対応

共通語 保良方言
 《目》 /me/ /miR/[mi:] 〈ミー〉
 《嫁》 /'jome/ /'jumi/[jumi] 〈ユミ〉
 《雨》 /'ame/ /'ami/[ami] 〈アミ〉
 《染める》 /someru/ /sumi/[sumi] 〈スウミ〉

7-2-8-4. /ma/が/ma/に対応

共通語 保良方言
 《豆》 /mame/ /mami/[mami] 〈マミ〉
 《前》 /ma'e/ /ma'i/[mai] 〈マイ〉
 《鞠》 /mari/ /maRi/[maī] 〈マーイ°〉
 《蒔く》 /maku/ /makī/[makī] 〈マクス〉

7-2-8-5. /mu/が/mu/に対応

共通語 保良方言
 《婿》 /muko/ /muku/[muku] 〈ムク〉
 《筵》 /musiro/ /muQsu/[mussu] 〈ムッスウ〉
 《虫》 /musi/ /musī/[musī] 〈ムス〉

7-2-8-6. /mu/が/M/に対応

◎/mu/は母音/u/が脱落して/M/になる。

共通語 保良方言
 《飲む》 /nomu/ /nuM/[num] 〈ヌム°〉

《踏む》 /humu/ /fuM/[fum] 〈フウム°〉
 《汲む》 /kumu/ /fuM/[fum] 〈フウム°〉
 《迎える》 /muka'eru/ /Mka'i/[mkai] 〈ム°カイ〉
 《雷》 /kaminari/ /kaMtu'juM/[kamtujum] 〈カム°トゥユム°〉
 《嶺》 /mune/ /Mmi/[mmi] 〈ム°ミ〉

7-2-8-7. /mo/が/mu/に対応

共通語 保良方言
 《物》 /mono/ /munu/[munu] 〈ムヌ〉
 《餅》 /moci/ /muci/[mutsi] 〈ムツ〉
 《模合い》 /mo'a'i/ /mu'ja'i/[mujai] 〈ムヤイ〉
 《元》 /moto/ /mutu/[mutu] 〈ムトウ〉

7-2-9. ハ行子音の対応

共通語	/hi/	/he/	/ha/	/hu/	/ho/
	↓	↓	↓	↓	↓
保良方言	/pī/	/pi/	/pa/	/fu/	/pu/

7-2-9-1. /hi/が/pī/に対応

共通語 保良方言
 《人》 /hito/ /pītu/[pītu] 〈プストウ〉
 《光》 /hikari/ /pīka'ī/[pīkaī] 〈プスカイ°〉
 《広げる》 /hirogeru/ /pīsugi/[pīsugi] 〈プススウグス〉
 《昼間》 /hiruma/ /pīRma/[pī:ma] 〈プスマ〉

7-2-9-2. /he/が/pi/に対応

共通語 保良方言
 《屁》 /he/ /piR/[pi:] 〈ピー〉
 《減る》 /heru/ /pina'ī/[pinaī] 〈ピナイ°〉
 《へら》 /hera/ /pira/[pira] 〈ピラ〉

7-2-9-3. /ha/が/pa/に対応

共通語	保良方言	
《葉》	/ha/	/paR/[pa:] <パー>
《花》	/hana/	/pana/[paks] <パナ>
《鋏》	/hasami/	/pasaM/[pasam] <ハサム°>
《墓》	/haka/	/paka/[paks] <パカ>

7-2-9-4. /hu/が/fu/に対応

◎/hu/は/pu/ではなく/fu/に対応する。

共通語	保良方言	
《船》	/hune/	/funi/[funi] <フウニ>
《吹く》	/huku/	/fukī/[fukī] <フックス>
《ふた》	/huta/	/futa/[futa] <フウタ>
《降る》	/huru/	/fu'ī/[fuī] <フウイ>
《膨れる》	/hukureru/	/fukuri/[fukuri] <フウクリ>

7-2-9-5. /ho/が/pu/に対応

共通語	保良方言	
《穂》	/ho/	/puR/[pu:] <プー>
《骨》	/hone/	/puni/[puni] <プニ>
《星》	/hosi/	/pusī/[pusī] <プス>
《ほこり》	/hokori/	/puki/[puki] <プクス>

7-2-10. ヤ行子音の対応

共通語	/ja/	/ju/	/jo/
	↓	↓	↓
保良方言	/ja/	/ju/	/ju/

7-2-10-1. /ja/が/ja/に対応

共通語	保良方言	
《家》	/ja/	/jaR/[ja:] <ヤー>
《焼く》	/jaku/	/jakī/[jakī] <ヤクス>
《病む》	/jamu/	/jaM/[jam] <ヤム°>
《親》	/o'ja/	/u'ja/[uja] <ウヤ>

7-2-10-2. /ju/が/ju/に対応

共通語	保良方言	
《湯》	/ju/	/juR/[ju:] <ユー>
《弓》	/jumi/	/juM/[jum] <ユム°>
《床》	/juka/	/juka/[juka] <ユカ>

7-2-10-3. /jo/が/ju/に対応

共通語	保良方言	
《嫁》	/jome/	/jumi/[jumi] <ユミ>
《夜》	/joru/	/juna' i/[junai] <ユナイ>
《横》	/joko/	/juku/[juku] <ユク>
《汚す》	/jogosu/	/juguri/[juguri] <ユグリ>

7-2-11. ラ行子音の対応

共通語	/ri/	/re/	/ra/	/ru/
	↓	↓	↓	↓
保良方言	/ī/	/ri/	/ra/	/ī/ /ru
共通語	/ro/			
	↓			
保良方言	/ru/			

7-2-11-1. /ri/が/ī/に対応

◎/ri/は子音/r/が脱落して/ī/になる。

共通語	保良方言	
《鳥》	/tori/	/tu' ī/[tuī] <トゥイ°>
《まり》	/mari/	/maR' ī/[ma: ī] <マーイ°>
《ゆり》	/juri/	/ju' ikabana/[juīkabana] <ユイ°カバナ>

7-2-11-2. /re/が/ri/に対応

共通語	保良方言	
《馴れる》	/nareru/	/nari/[nari] <ナリ>
《枯れる》	/kareru/	/kari/[kari] <カリ>
《惚れる》	/horeru/	/puri/[puri] <プリ>

7-2-11-3. /ra/が/ra/に対応

共通語	保良方言	
《鞍》	/kura/	/fura/[fura] 〈フウラ〉
《へら》	/hera/	/pira/[pira] 〈ピラ〉
《働く》	/hataraku/	/patarakī/[patarakī] 〈パタラクス〉
《皿》	/sara/	/kuzara/[kudzara] 〈クザラ〉

7-2-11-4. /ru/が/ru/に対応

共通語	保良方言	
《樽》	/taru/	/taru/[taru] 〈タル〉
《猿》	/saru/	/saru/[saru] 〈サル〉

7-2-11-5. /ru/が/'i/に対応

◎動詞の終止形の語尾の/ru/は子音/r/が脱落して/'i/になる。

共通語	保良方言	
《降る》	/huru/	/fu' i/[fuī] 〈フウイ°〉
《寄る》	/' joru/	/' ju' i/[juī] 〈ユイ°〉
《蹴る》	/keru/	/ki' i/[kiī] 〈キイ°〉

7-2-11-6. /ro/が/ru/に対応

共通語	保良方言	
《殺す》	/korosu/	/kurusī/[kurusī] 〈クルス〉
《色》	/' iro/	/' iru/[iru] 〈イル〉
《六銭》	/rokusen/	/rukusiN/[rukufij] 〈ルクシン〉
《湯風呂》	/' juhuro/	/' juRfuru/[ju:furu] 〈ユーフウル〉

7-2-12. ワ行子音の対応

共通語	/' wi/	/' we/	/' wa/	/' wo/
	↓	↓	↓	↓
保良方言	/bī/	/bi/	/ba/	/bu/

7-2-12-1. /'wi/が/bī/に対応

共通語	保良方言	
《亥》	/' wi/	/bīR/[b:] 〈ブー〉
《居入る》	/' wi' iru/	/bīR/[bī:] 〈ブー〉
《いざる》	/' wizaru/	/bīza' i/[bīdzaī] 〈ブ ザイ°〉

7-2-12-2. /'we/が/bi/に対応

共通語	保良方言	
《餌》	/' wesa/	/bidu/[bidu] 〈ビドゥ〉

7-2-12-3. /wa/が/ba/に対応

共通語	保良方言	
《割る》	/' waru/	/ba' i/[baī] 〈バイ°〉
《忘れる》	/' wasuteru/	/basi/[bafī] 〈バシ〉
《笑う》	/' wara' u/	/bara' u/[barau] 〈バラウ〉
《若者》	/' wakamono/	/bakamunu/[bakamunu] 〈バカムヌ〉

7-2-12-4. /'wo/が/bu/に対応

共通語	保良方言	
《折る》	/' woru/	/bu' i/[buī] 〈ブイ°〉
《緒》	/' wo/	/buR/[bu:] 〈ブー〉
《踊り》	/' wodori/	/budu' i/[buduī] 〈ブド ウイ°〉
《夫》	/' woQto/	/butu/[butu] 〈ブトウ〉

8. 共通語の音声的環境における音韻同化

保良方言においては共通語の音声的環境が/bur-//gur-//mur-//hi-r-//sir-//kur-//ur-//である場合、音韻同化によって/CV-r/が[f, v, s]に変化する現象がある。(C-子音音素、V-母音音素)

8-1. /bur-/が/V/に同化

共通語	保良方言	
《炙る》	/' aburu/	/' aV/[av] 〈アヴ〉

《油》 /' abura/ /' aVva/[avva] 〈アヴヴァ〉
 《被る》 /kaburu/ /kaV/[kav] 〈カウ〉

8-2. /gur- /が/V/に同化

共通語 保良方言
 《手繰る》 /taguru/ /taV/[tav] 〈タヴ〉
 《手繰れ》 /tagure/ /taVvi/[tavvi] 〈タヴ
 ヴィ〉

8-3. /mur- / /V/に同化

共通語 保良方言
 《眠る》 /nemuru/ /niV/[niv] 〈ニヴ〉
 《煙》 /kemuri/ /kiVsu/[kivsu] 〈キヴスウ〉

8-4. /hi-r /が/pī-s/に同化

共通語 保良方言
 《開く》 /hiraku/ /pīsugi/[pīsugi] 〈プスス
 ギ〉
 《広い》 /hiro' I/ /pīsuRnu/[pīsu : nu] 〈プス
 ウーヌ〉
 《拾う》 /hiro' u/ /pusuR/[pusu :] 〈プスウー
 〉
 《平良》 /hirara/ /pīsara/[pīsara] 〈プスサラ〉

8-5. /kur- /が/Ff/に同化

共通語 保良方言
 《枕》 /makura/ /maFfa/[maffa] 〈マフフ
 ア〉
 《暗い》 /kura' i/ /FfaRFfa/[ffa : ffa] 〈フ
 ファーフファ〉
 《黒》 /kuro/ /Ffu/[ffu] 〈フフウ〉

8-6. /' ur- /が/V/に同化

共通語 保良方言
 《売る》 /' uru/ /VR/[v :] 〈ヴー〉
 《売れ》 /' ure/ /Vvi/[vvi] 〈ヴヴィ〉
 《売らん》 /' uraN/ /VvaN/[vvaŋ] 〈ヴヴァン〉

8-7. /si-r /が/s/に同化

共通語 保良方言
 《筵》 /musiro/ /muQsu/[mussu] 〈ムッスウ〉
 《白》 /siro/ /Qsu/[ssu] 〈ッスウ〉

9. 語中のワ行子音が脱落する

共通語 保良方言
 《皮》 /kawa/ /kaR/[ka :] 〈カー〉
 《粟》 /' awa/ /' aR/[a :] 〈アー〉
 《縄》 /nawa/ /naR/[na :] 〈ナー〉
 《変わる》 /kawaru/ /kaR' /[ka : '] 〈カーい〉
 《回る》 /mawaru/ /maR' i/[ma : i] 〈マーイ°〉

10. はねる音 [ŋ] 〈ン〉、[m] 〈ム°〉 について

共通語の「はねる音」[ŋ] 〈ン〉、[m] 〈ム°〉が保良方言では付く音素によって意味が別になる。/M/、/N/は区別をすることは重要である。自立語の語頭にも立ち得る。語例は次の通りである。

共通語 保良方言
 《犬》 /' inu/ /' iN/[iŋ] 〈イン〉
 《海》 /' umi/ /' iM/[im] 〈イム°〉
 《蟹》 /kani/ /kaN/[kaŋ] 〈カン〉
 《神》 /kami //kaM/[kam] 〈カム°〉
 《芋》 /' imo/ /MR/[m :] 〈ム°ー〉

11. 自立語の語頭にたつ語例

共通語 保良方言
 《道》 /mici/ /Mcī/[mtsī] 〈ム°ツ〉
 《皆》 /mina/ /MRna/[m : na] 〈ム°ーナ〉
 《嶺》 /mine/ /Mmi/[mmi] 〈ム°ミ〉
 《味噌》 /miso/ /Mcū/[mtsū] 〈ム°ツウ〉
 《土》 /cuci/ /Mta/[mta] 〈ム°タ〉
 《あだん》 /' adaN/ /Ngi/[ŋgi] 〈ンギ〉

12. まとめ

保良方言の音素で特徴的な点を示すと次のよ

うになる。

◎保良方言の母音の中舌母音 /i/ が /p, z, b, c, k, g, s/ の子音と一緒に音節を形成して音韻的な意味を区別する。語例、[pikī] 〈プクス〉《引く》、[dzī:] 〈ズー〉《地面》、[bī:] 〈ブー〉《座る》、[tsīnagī] 〈ツナグス〉《繋ぐ》、[kīsī] 〈クスス〉《切る》、[sīna] 〈スナ〉《砂》

◎宮古方言のほとんどでは母音音素は日本語との音韻対応において[a]が宮古方言の[a]に、[i]が[i]に、[u]が[u]に、[e]が[i]に、[o]が[u]に変化し対応する。宮古の他の方言では[au]の連母音が融合して[o:]としての長母音として現れるのがふつうである。しかし、保良方言の音韻の特徴の一つに母音[o]が存在しないことが上げられる。先に述べたように宮古方言のほとんどの方言は連母音[a u]が融合して長母音として[o]が存在するが、保良方言では連母音[a u]は融合せずそのまま[a u]で残るため母音[o]が存在しない。共通語《買う》[kau] 〈カウ〉がそのまま[kau]になる。方言の連母音もそのままである。語例《けんか》[au] 〈アウ〉、《習う》[narau] 〈ナラウ〉、《竿》[sau] 〈サウ〉となる。

◎子音摩擦音の /v/、/f/ がある。これは保良方言をはじめ宮古方言全体の特徴でもある。語例[kav] 〈カヴ〉《被る》、[niv] 〈ニヴ〉《眠る》、[fusuī] 〈フウスウイ°〉《薬》、[funī] 〈フウニ〉《船》、/suFfi/ [suffi] 〈スッフフィ〉《掬う》、/FfjaR.naraN/ [ffja:narap] 〈フジャー・ナラン〉《噛んではいけない》、/kafjaR.naraN/ [kafja:.narap] 〈カジャーナラン〉《隠れてはいけない》、/kafjuR' i/ [kafju: 'i] 〈カフューイ°〉《隠れている》、/Vvi/ [vvi] 〈ヴヴィ〉《売れ》、/niVvi/ [nivvi] 〈ニヴヴィ〉《眠れ》、/kaVvi/ [kavvi] 〈カヴヴィ〉

《被れ》、/vad·aRN/ [vvad·a:ŋ] 〈ヴヴァジャーン〉《売らない》、/ 'aVva/ [avva] 〈アヴヴァ〉《油》、/daRVvu/ [da:vvu.tui] 〈ダーヴヴウ・トゥイ〉《道具をとれ》、/ 'juVvu.fa' i/ [juvvu.fai] 〈ユヴヴウ・ファイ〉《お粥を食べなさい》、/kuRVvu.tu' i/ [ku:vvu.tui] 〈クーヴヴウ・トゥイ〉《蜘蛛を捕れ》、/VvjuR' i/ [vvju: 'i] 〈ヴヴユーイ°〉《魚を売っている》、/nivsari/ [nivsari] 〈煮腐れ〉

◎ /p/ は、現代日本語の /h/ の古い形である。語例《花》[pana] 〈パナ〉、《骨》[puni] 〈プニ〉、《屁》[pi:] 〈ピー〉、/paka/ 《墓》[paka] 〈パカ〉、《畑》/pari/ [pari] 〈パリ〉、[pusī] 〈プス〉《星》

◎ /hu/ は /pu/ に変化はせず /fu/ に変化する。語例は次の通り。

共通語	保良方言
《船》	/hune/ /funī/[funī] 〈フウニ〉
《吹く》	/huku/ /fukī/[fukī] 〈フックス〉
《ふた》	/huta/ /futa/[futa] 〈フッタ〉
《降る》	/huru/ /fu' i/[fuī] 〈フウイ°〉
《膨れる》	/hukureru/ /fukuri/[fukuri] 〈フックリ〉

◎か行の /ku/ が /fu/ に対応するために保良方言においては、か行の /ku/ が /fu/ に変化した /fu/ と、は行の /hu/ が /fu/ に変化した2つの /fu/ が存在する。

共通語	保良方言
《鞍》	/kura/ /fura/[fura] 〈フウラ〉
《薬》	/kusuri/ /fusu' i/[fusuī] 〈フウスウイ°〉
《草》	/kusa/ /fusa/[fusa] 〈フウサ〉
《糞》	/kuso/ /fusu/[fusu] 〈フウスウ〉
《汲む》	/kumu/ /kuM/[fum] 〈フウム°〉

◎共通語の /w/ が /b/ に変化する。/b/ の中には現代日本語 /w/ が古い形として残ったものと考えられる。語例[bakamunu] 〈バカ

ムヌ) 《若者》、[bai] 〈バイ〉 《割る》、
[buĩ] 〈ブイ〉 《織る》、[butu] 〈ブトゥ〉
《夫》、/'wizaru/ /bĩza' i/ 《いざる》、
[bĩdzaĩ] 〈ブスザイ〉、[buĩ] 〈ブイ〉 《折
る》 [buduĩ] 〈ブドゥイ〉 《踊り》

◎保良方言には基本的に短母音の/o/が存在
しないために/o/が/a/に変化した語が存
在する。語例《道具》 /do:gu/ : /da:v/
[da:v] 〈ダーヴ〉

◎宮古の他の方言では共通語の/di/[di]は/
di/[di]に対応するが保良方言では/zi/
[dzi]に対応する。語例は次の通り。
/'uzi/[udzi] 〈ウジ〉 《腕》、/'izi/[idzi]
〈イジ〉 《出る》

◎宮古の他の方言では/zo/は/zu/に変化す
るが保良方言では/zu/ではなく/du/に変
化する例がある。

共通語	保良方言
《溝》 /mizo/	/Mdu/[mdu] 〈ムドゥ〉

◎宮古の方言では、すべての子音に接続する[o]
は[u]になり、その前に[a]母音がある時は融
合して[o:]になる。保良方言では基本的に[o]
がないため、その代わりとして[a:]が表出す
る。語例として、宮古方言では〈誰〉 /dare
/は、/toR/[to:]と/taR/[ta:]、/taru
/[taru]の3通りがある。/o/を持たない保
良方言や友利方言では〈誰〉 /taR/[ta:]と
なる。

主要参考文献

島尻 澤一

1983 『琉球宮古方言の助詞 —野原方言の助詞
ga と nu を中心に—』 琉大言語 2 集 琉球大
学国語学研究会

1984 『琉球方言宮古野原方言の音韻の研究』 琉
大言語 3 集 琉球大学国語学研究会

2011 『宮古島市西里方言の音韻』 宮古の自然と

文化・第3集・宮古の自然と文化を考える会
2021 『宮古城辺方言の音韻の研究—旧城辺町史
のための調査資料中心に—』 宮古島市総合博
物館紀要・第25号

2022 『古代語日本語の助詞と琉球宮古島方言助
詞の比較研究—国語の助詞「の」と「が」と
方言助詞「nu」・「g」について—』 宮古島市
総合博物館紀要・第26号

富浜 定吉

2013 『伊良部方言辞典』 沖縄タイムス社

仲宗根 政善

昭和58年 『沖縄今帰仁方言辞典』 角川書店

宮城 信勇

2003 『石垣方言辞典』 沖縄タイムス社

城辺町史編纂委員会

1990 『城辺町史第5巻民話編』

2004 『城辺町史第6巻歌謡編』

2004 『くすくべ方言語彙(上)—友利、砂川、下
里添、新城、保良—』

2004 『くすくべ方言語彙(下)—西里添、福里、
長間、比嘉—』

久松方言保存会

2020 『久松方言集』

内間 直仁・野原 三義

2006 『沖縄語辞典・那覇方言を中心に』 株式会
社・研究者

琉球大学沖縄文化研究所編

1968年 『宮古島学術調査研究報告・言語・文学』

本村 満・本村 洋子

2014年 『続・みやこのことば 野原部落(旧上
野村)の方言を中心に』 編集・発行者 本村 満

与那覇 ユヌス

2003年 『宮古シマフツ辞典』 沖縄コロニー印刷
仲間 博之・田窪 行則・岩崎 勝一・五十嵐 陽

介・仲川 奈津子

2022年 『南琉球宮古語 池間方言辞典』 国語国
立研究所 言語変異研究領域